



令和5年1月27日
杉並区立天沼中学校
東京都杉並区本天沼 3-10-20
☎ 3390-0161



AKA～小中連携授業の日を終えて～ 校長 松尾 了

3学期が始まり、すでに3週間目に入りました。ご挨拶がだいぶ遅くなりましたが、本年もよろしくお願いいたします。

さて、14日（土）に小中連携の日を行いました。AKA（天沼小・杳掛小・天沼中）の3校の児童生徒が交流する日です。今年はやっと、3年ぶりに直接対面形式での交流が実現しました。

天沼中では中学1年生と各小学校の6年生が小グループをつくり、百人一首を行い、その後、同じグループで生徒会主催の小中学生未来サミットとして、小学6年生が「中学校生活について」質問するなどの交流を実施しました。また、中学2・3年生は各小学校へ訪問し、中学3年生は小学5年生とHUG訓練を、中学2年生は小学1～4年生の各教室で授業補助を行いました。

交流後の本校生徒のアンケートを読んだところ、「小学生が話の内容を理解できるように話し方に気を遣った」「小学生が小さかったので、注意しながら活動した」「小学生との交流で来年度から先輩になる実感がもてた」という内容が多く見られました。

2時間弱程度の交流を通じ、多くの生徒は「相手（小学生）が、どのように自分（中学生）の言動を理解しようとするのか」「自分自身の来年度のこと」について、考えながら活動することの大切さを体験から学んだようです。

コロナ禍対応のため、ICT機器の利活用により、映像や文字情報での交流が盛んになりました。遠く離れた場所においても、物理的な距離を越えてコミュニケーションが図れるようになったことは大変便利です。手軽にやりとりができます。ですが、実在する目の前にいる人やモノから、そこはかたく醸しだされる雰囲気、温かさ、感情や質感といったものは、やはり直接触れることでしか伝わらない、得られないものではないかと思うのです。

ICT機器の使い方に慣れていればリモート交流の方が、直接交流するよりも教職員が準備をする負担は少なく済みます。直接交流を行う場合は、3校でグループ分けの人数をどのように配分するのか、教室はどこを使うのか、引率教員はどうするのか、各教室で指導の中心となる先生は誰にするのか、生徒や児童に事前にどのような指導や連絡をしなくてはならないか…3校の担当職員が準備や打ち合わせのために、細かな調整が必要になります。ですが、ICT機器を使ったりリモート交流ですと、児童生徒がタブレットを準備するだけで、どこの教室でもできます。そして、引率者は不要です。

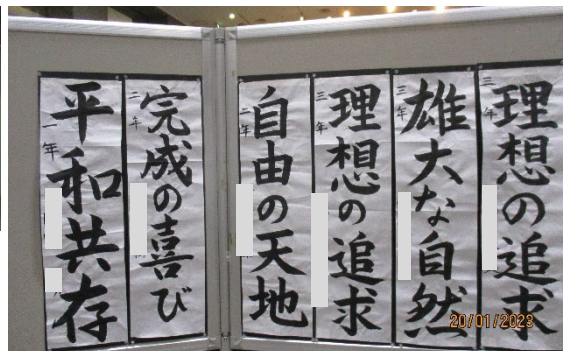
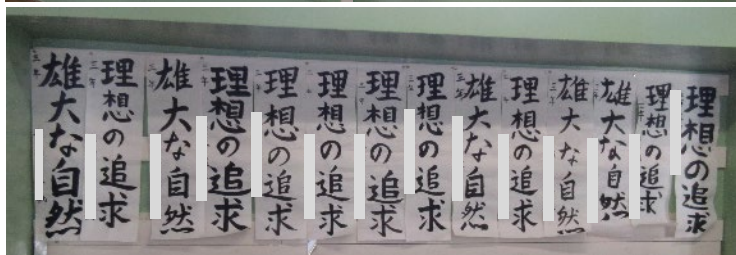
このように考えると、ICT機器の使い方に慣れて活用が広がると、その利便性や作業効率の良さから、教員の働き方改革としては良いのかもしれません。ですが、児童生徒の学び方、学びの深さを考えるとその利便性のみでの判断は管理職としては難しいところです。そして、ICT機器によるコミュニケーションの利便性、直接交流によるコミュニケーションの重要性、それぞれの長所を生かした方法を組み合わせるためには、私たちも失敗を恐れずに活用方法や組み合わせ方を試行錯誤する必要があります。悩みは尽きません。

14日（土）に行った児童生徒の交流を、今回のように直接交流ではなく、リモートの画面上で行った場合に、「相手意識」について、直接対面で行ったときと同じような気持ちの深さで、本校生徒が同じような学びを得られるかどうか…。生徒たちの温かい言葉が並んでいるアンケートを読みながら、そんなことを思わず考えてしまいました。

よりよい活動や手法を見出すために、今後も試行錯誤を続けてまいりますので、本校の教育活動へのご理解を賜えますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

書初め展

1月末まで、校内にて書初めを展示しています。学年ごとの課題の文字にそれぞれの思いを乗せた書写作品が並び、見ていだけで広々とした大地に立っている気持ちになります。書初め展は、予定を変更し、2月4日の学校公開日まで実施します。



1月20日～27日、区書初め展が区役所ロビーで開催されました。本校から6人が選ばれ、展示されました。

Amanuma Kutsukake Amanuma

小中連携の日

交流授業

今年度はようやく対面での小中連携交流授業が再開できました。

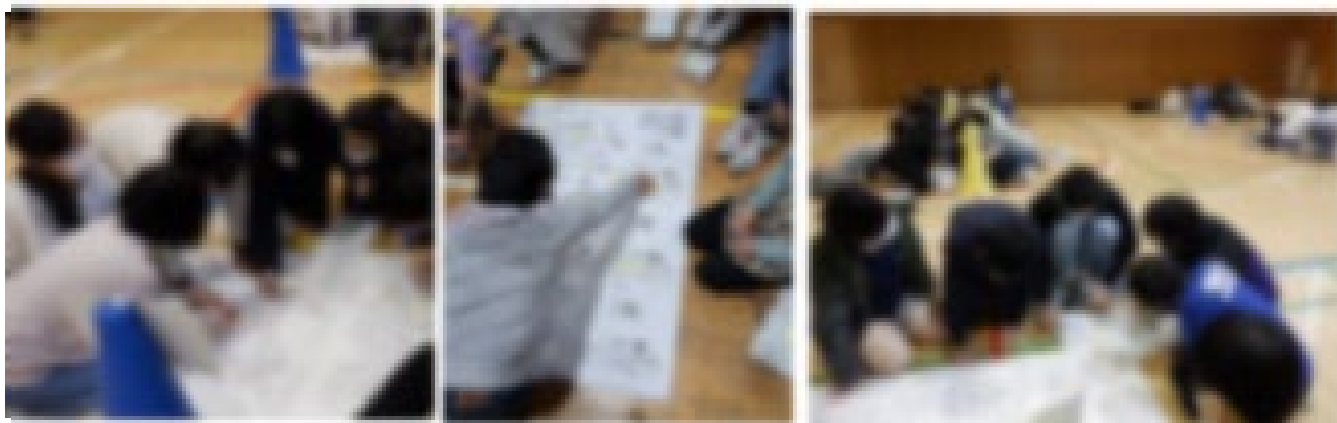
小学6年生は中学1年生と「百人一首大会」。沓掛小、天沼小、天沼中で、グループを組んで対戦しました。結果は、、小学生に軍配が上がりました。6年生のがんばりに、中学1年生が感心していました。年長者らしく、同時に手を出したら小学生に譲るなどの配慮をする姿に、成長を感じることができました。また、天沼中の生徒会役員会の企画、運営で「小中未来サミット」（以前は区内全校で集まって実施していたディスカッションの流れを受けたもの）を開催しました。百人一首で交流したあとでしたので、小学生もしゃべりやすい雰囲気を作ることができ、グループでのディスカッションで、中学校生活についてなど小学生もたくさん質問できていたようです。

【中1の感想】「小学生が上の句でとっていてすごいと思った。また、百人一首以外のことでもたくさんしゃべることができて交流できたと思う。」「みんな最初は緊張していたけれどどんどん緊張が解けて、とてもいい時間になったと思う。みんなに中学のことを教えられて良かった。」「楽しかった。6年生のコミュニケーション能力、百人一首の強さを知れた。」



5年生は中学3年生と「HUG 訓練」。1 時間程度の中でしたので、ゲームの説明程度ではありましたが、天沼小、沓掛小が震災の避難所になったときにはどんなふうに避難者を誘導していけばよいのか、中3と小5で考え、話し合っていました。

【中3の感想】「5年生たちはみんな元気で積極的に意見を出していた。」「小学生のほうが脳が柔らかいのか、考えていることが面白かった。小学校に行けて、懐かしかった。」「カードを読んだとき、みんな素直に一生懸命考えてくれて、とても物事が進みやすかった。小学生どうして意見が異なった時も話し合うことで解決していたので、自分あまり手を貸さなくても小学生どうしてうまく話し合うことができていたと気づいた。」「多くの中3生は5年生のときの自分のことを思い出そうとしていたと思う。5年生だからこそその意見や考え、主体性があった。」「コロナなどの影響もあった中で小学生との交流（災害時について考える）ができてよかったです。」



中学2年生は両小学校に出向き、1年生から4年生の授業に入って補助をしました。急には積極的に声を掛けられない生徒もいたようですが、中学生にとって、よい経験になりました。

【中2の感想】「小3のころに習ったことが薄れかけていたことに気付いた。教え方が難しかった。だから、先生の教え方ってすごいんだなと思った。」「私は折り紙がうまいので、できない子をしっかり見て違う折り方をしていたらすぐに教えてあげられた。かわいかった。」「小学校2年生にも分かりやすい言葉で伝えるのが大変だった。先生が説明するときに2年生でもわかる言葉で説明していてすごいと思った。みんな意外と自分で自分のことをしていて驚いた。」「たくさんの子がいる中で、分からないと顔で訴えている子とかに気付けるかどうかが大変だと思った。広い視野で見てあげることが大切！！」「久しぶりに天小に行って小学生の平和な雰囲気癒された。」



レスキュー隊校内防災学習会「パッククッキング」



今年度のレスキュー隊校内防災学習会も3回目、最終回を迎えました。開催が危ぶまれる中でしたが、新型コロナの感染予防という意味でも、災害時の「パッククッキング」のノウハウはたいへん役立つものです。本校の防災教育の講師である、守真弓先生のご指導のもと、学校支援本部のお手伝いをいただき、カレーライスを作りました。

災害時はライフラインが止まるなど、衛生面でも厳しい環境になります。水を有効に使い、ポリ袋で個別に、すでに火の通った缶詰などの材料を使って、「湯せん」で調理します。個別に作ることができるので、アレルギーを持っている人にも対応できます。今回は時間の関係で「災害時のアルファ米」を使用しましたが、同じ調理方法で米飯を炊くことも可能です。

講師の守先生からは、「災害時に急にこの方法でごはんを作ろうとしてもなかなかできない。平常時に時にはこの調理方法を試しておくとうい。」というお話もありました。

知って得する！
パッククッキング

なんとポリ袋（130℃耐熱）を使って、**とは・・・**
洗い物もほとんどでないエコな調理法です。

①材料を用意 ②ポリ袋に詰める ③沸騰した鍋に入れて煮る

ポリ袋に材料と調味料を入れ、空気を抜いてから、袋の上の方で口を結び、鍋の中に入れて煮る。

20分煮て完成！

～備蓄食品を上手に利用してLet's クッキング！～

ごはん

材料（1人分）
・米 1/2カップ（80g）
・水 1/2カップ（100g）

作り方
①米をポリ袋に入れ、タシの水で軽くもみ洗いし、その水を捨てる。
②①に分量の水を加え、空気を抜いて口を結ぶ。
③沸騰した鍋に入れて約20分加熱し、火を止め、そのまま10分ほど蒸らす。

これが基本！
水を煮やせば
おかゆもOK

野菜とツナのシュウ

材料（1人分）
・じゃがいも 50g
・にんじん 20g ・たまねぎ 50g
・コーン粉 20g ・ツナ缶（水漬）20g
・ラヂューール 1個（15g） ・水 80g

作り方
①じゃがいも、にんじんは小さめの塊りにし、たまねぎはざくざくに切る。
②ポリ袋に①とコーン粉、ツナ缶、ラヂューール、水を入れ、空気を抜いて口を結ぶ。
③沸騰した鍋に入れて約20分加熱し、取り出す。

カレーも
同様

ソーセージのラクトイコ

材料（1人分）
・ゆで大豆 20g ・たまねぎ 20g
・フランクフルト 20g ・トマト 50g
・クチャップ 大さじ1/4 ・鷹の爪油 1/4杯
・こしょう タタ・パセリ タタ

作り方
①たまねぎはくし切り、フランクフルトは斜め切りにする。
②ポリ袋に①と大豆、トマト、鷹の爪油を入れ、空気を抜いて口を結ぶ。
③沸騰した鍋に入れて約20分加熱し、取り出す。
最後にパセリを飾る。

学校からのお知らせ

9月にお知らせしたとおり、学校指定の上履きが2月から値上げされます。近々買い替えを予定されている方はご承知おきください。 ※ 3100円⇒3500円 井荻スポーツまでお問合せください。

天中CSコーナー

「生活と学びのアンケート」にご協力ありがとうございました。アンケートの集計をもとに、CS協議会で考察し、学校関係者評価委員会において、次年度に向けての意見をまとめてまいります。次回CS協議会は2月6日16：00からです。傍聴をご希望の方は副校長までご連絡ください。